

平成 22 年の機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出は 3 年ぶりの大幅なプラスに、貿易黒字は 2.4 倍増～

・平成 22 年(1-12 月)の全商品輸出額は、対前年比(以下同じ)24.4%増の 67 兆 4,054 億円と前年の大幅なマイナス(33.1%減)から一転、3 年ぶりの大幅なプラス成長となった。これは、全商品輸出額の 20%を占める一般機械(37.7%増)、23%の輸送用機器(28.8%増)、13%の鉄鋼等素材製品(25.2%増)が大幅に増加したことによる。

一方、全商品輸入額も 18%増の 60 兆 6,057 億円と前年の大幅なマイナス(34.9%減)から 4 年ぶりに 2 ケタのプラス成長となった。これは、輸入額の 13%を占める電気機器(24.4%増)、29%の鉱物性燃料(22.2%増)、鉄鋼等素材製品(23.7%増)、鉄鉱等原料品(38.8%増)に牽引されたことによる。

・この結果、貿易黒字額は輸出の伸び率が輸入を上回ったため、2.4 倍増の 6 兆 7,996 億円と大幅に増加した。

図表 1. 全商品・機械貿易動向(年)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)				対H19年 (円建)比
		平成21年	伸び率	平成22年	伸び率	平成21年	伸び率	平成22年	伸び率	
輸出	全商品	541,824	▲ 33.1	674,054	24.4	580,913	▲ 25.2	767,077	32.0	0.80
	機械	345,411	▲ 36.5	440,101	27.4	370,494	▲ 28.9	500,939	35.2	0.76
	シェア	64%		65%						
輸入	全商品	513,661	▲ 34.9	606,057	18.0	550,866	▲ 27.1	689,633	25.2	0.83
	機械	134,687	▲ 27.8	159,343	18.3	144,283	▲ 19.3	181,415	25.6	0.79
	シェア	26%		26%						
収支	全商品	28,163	28.7	67,996	141.4	30,047	43.0	77,445	157.7	0.63
	機械	210,828	▲ 41.0	280,758	33.2	226,206	▲ 34.0	319,524	41.3	0.75
	シェア	7.5倍		4.1倍						

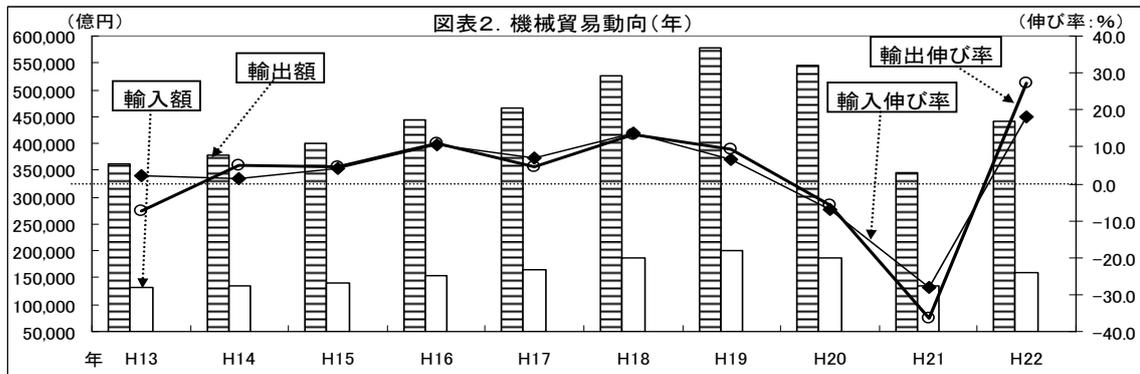
2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出入とも 3 年ぶりにプラス、～リーマンショック前水準 8 割へ回復

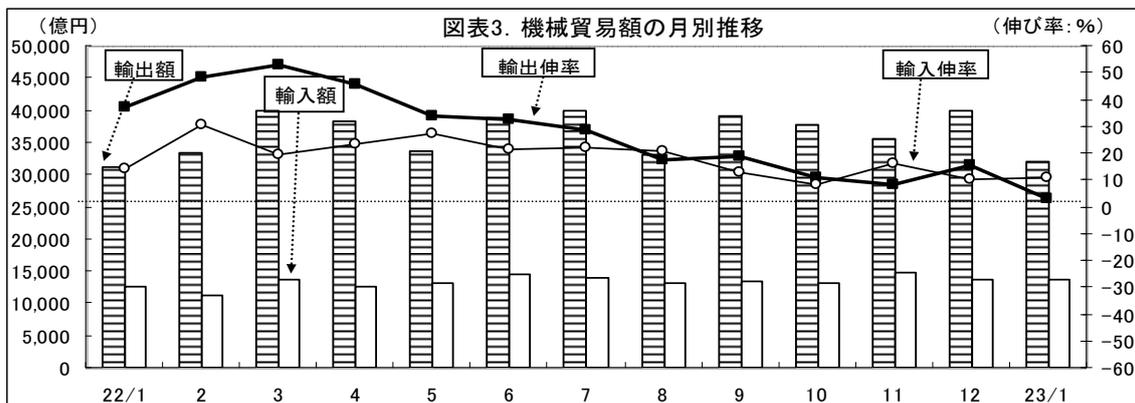
・全商品輸出額の 65%を占める機械輸出額は、戦後最大の落ち込み幅となった昨年に比べ 27.4%増の 44 兆 101 億円と 3 年ぶりに大幅なプラスとなった。これは、世界経済を牽引する新興国の内需拡大が寄与したものである。一方、為替は、対ドルで前年比 5.8%、対ユーロで 9.8%の円高となり、円建輸出額を約 4%縮小させる要因となった。平成 22 年の機械輸出額をリーマンショック以前の平成 19 年の輸出額と比較すると 76%の水準である。

月別では、昨年 3 月の 53%増をピークに、11 月の 8.4%増までほぼ一貫して伸び率を低下させたが、12 月には 15.3%増に回復した。

・全商品の 26%を占める機械輸入額も 18.3%増の 15 兆 9,343 億円と 3 年ぶりのプラスとなり、平成 19 年比では、79%の水準である。



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
対ドルレート(円)	125.6	116.4	108.3	109.6	116.2	118	104.3	93.5	88.1
円高(+)(%)	-3.8	+7.3	+7.0	-1.2	-6.0	-1.5	+11.6	+10.4	+5.8



(2) 地域別輸出動向～全地域向けで大幅プラスに～

・地域別では、①最も高い伸びとなったのが、機械輸出額の 18%を占める**中国向け**で産業機械(56.2%増)、自動車(40.6%増)、工作機械(2.5倍)、陸用内燃機(2.2倍)、繊維機械(60.4%増)、建設機械(60.4%増)等が大幅に増加し、**37.9%増**となった。②29%の最大輸出地域の**NIES/ASEAN 向け**は、インドネシア(76.2%増)、タイ(43.7%増)、台湾(41.6%増)、フィリピン(30.4%増)、韓国(28.1%増)等向けが大幅な伸びとなり、機種別では、工作機械、半導体製造装置等産業機械、自動車、光学機械、電子計測器等が増加し、**32.7%増**となった。③20%の**その他地域向け**は、ロシア・東欧(57.7%増)、インド(36.5%増)、中南米(24.1%増)向けが大幅に伸び **28.4%増**となった。④20%の**北米向け**は、同国向け輸出額の半分を占める自動車(24.2%増)が大幅に増加し **19.7%増**となった。⑤12%を占める **EU 向け**も、自動車(18.1%増)、産業機械(17.3%増)等が大幅増となり 14.3%増となった。

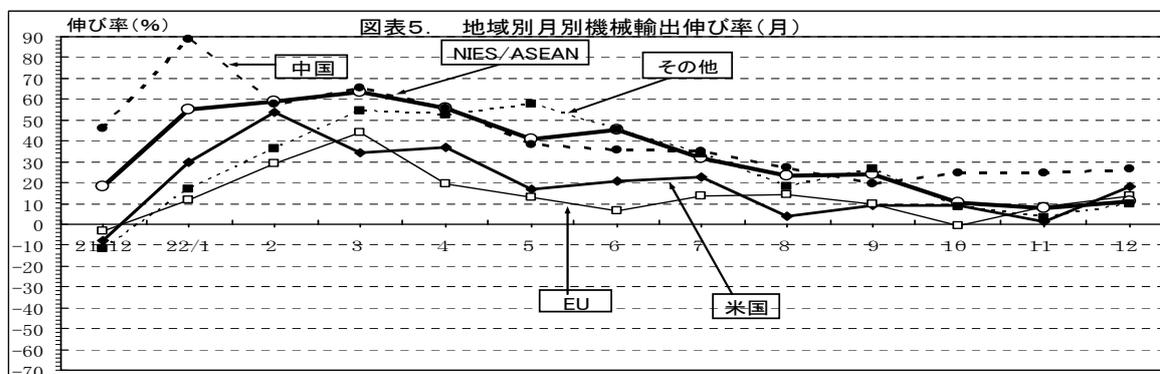
各地域をリーマンショック以前の平成 19 年と比較すると、中国が水準を超え、NIES/ASEAN 向けが 87%、北米、EU、その他地域向けは未だ 50～70%台の水準である。

図表4. 地域別機械輸出動向(年)

(単位:億円)

	平成20年			平成21年			平成22年			対H19年 比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	544,135	▲ 5.7	100.0	345,411	▲ 36.5	100.0	440,101	27.4	100.0	0.76
北米	123,668	▲ 16.4	21.0	73,178	▲ 40.8	21.2	87,435	19.7	19.9	0.64
EU	85,985	▲ 9.8	15.8	47,709	▲ 44.5	13.8	54,521	14.3	12.4	0.57
NIES/ASEAN	138,451	▲ 6.1	25.4	96,499	▲ 30.3	27.9	128,113	32.7	29.1	0.87
中国	72,746	▲ 0.5	13.4	58,246	▲ 19.9	16.9	80,292	37.9	18.2	1.10
その他	132,899	7.5	24.4	69,780	▲ 43.4	20.2	89,740	28.4	20.4	0.73

は、前年比10%以上の増加



(3) 業種別輸出動向～20 業種中 18 業種で前年比プラス、自動車が大幅に回復～

・平成 22 年は全 20 業種のうち 18 業種がプラスとなり、大幅に改善した。特に、全体の 31%を占める**自動車**は 34.1%増と昨年のマイナス(45%減)から大きく回復し、機械輸出の増加に大きく寄与した。

また、シェアの大きい17.5%の**産業機械**(33.6%増)、**電子デバイス**(21.3%増)も回復し、特に繊維機械、工作機械、建設機械、陸用内燃機、産業車両、ベアリングが高い伸びとなった。

これをリーマンショック以前の平成19年と比べると、リーマンショック以前の水準を超えたのは船舶、医療機械、ベアリングの3機種で、光学機械が90%台、陸用内燃機、産業機械、重電気機械、農業機械が80%台、電子デバイス、軽電気機械、建設機械、繊維機械、工作機械は70%台、自動車、軽機械、事務機械、民生用電子機械、通信機械、産業車両、電子計算機は、40～60%台である。

一方、マイナスとなったのは、携帯電話、光ケーブル等の**通信機械**(13.5%減)、パソコン等の**電子計算機**(2.6%減)の2業種であった。

図表6. 上位20業種の輸出額の動き(年)

(単位:億円)

平成20年				平成21年				平成22年				対H19年比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	187,668	▲ 5.7	34.5	自動車	103,147	▲ 45.0	29.9	自動車	138,278	34.1	31.4	0.69
産業機械	87,195	▲ 2.0	16.0	産業機械	57,605	▲ 33.9	16.7	産業機械	76,979	33.6	17.5	0.86
電子デバイス	46,195	▲ 11.7	8.5	電子デバイス	33,865	▲ 26.0	9.8	電子デバイス	41,090	21.3	9.3	0.79
民生用電子機械	35,981	▲ 12.2	6.6	船舶	22,524	▲ 5.2	6.5	船舶	25,415	12.3	5.8	1.18
軽電気機械	27,806	▲ 10.4	5.1	民生用電子機械	22,245	▲ 38.9	6.4	軽電気機械	24,305	28.4	5.5	0.79
重電気機械	24,380	▲ 3.1	4.5	軽電気機械	18,934	▲ 31.9	5.5	民生用電子機械	23,747	6.8	5.4	0.58
船舶	23,765	▲ 10.6	4.4	重電気機械	17,755	▲ 27.2	5.1	重電気機械	21,512	21.2	4.9	0.85
軽機械	20,104	▲ 5.2	3.7	軽機械	11,190	▲ 27.8	3.2	光学機械	14,510	34.2	3.3	0.99
建設機械	17,038	▲ 2.5	3.1	光学機械	10,812	▲ 23.5	3.1	軽機械	14,321	28.0	3.3	0.68
光学機械	14,129	▲ 3.5	2.6	通信機械	7,506	▲ 24.4	2.2	建設機械	11,778	76.9	2.7	0.71
電子計算機	11,220	▲ 22.3	2.1	電子計算機	7,027	▲ 37.4	2.0	電子計算機	6,847	▲ 2.6	1.6	0.47
通信電子機械	10,344	▲ 7.6	1.9	建設機械	6,661	▲ 60.9	1.9	工作機械	6,809	87.7	1.5	0.70
工作機械	9,567	▲ 2.3	1.8	医療機械	3,667	▲ 20.6	1.1	通信機械	6,502	▲ 13.5	1.5	0.58
陸用内燃機関	4,577	▲ 2.3	0.8	工作機械	3,628	▲ 62.1	1.1	ベアリング	4,191	50.7	1.0	1.06
ベアリング	4,180	5.7	0.8	ベアリング	2,781	▲ 33.5	0.8	陸用内燃機	4,131	62.2	0.9	0.88
産業車両	2,613	6.8	0.5	陸用内燃機	2,547	▲ 44.3	0.7	医療機械	3,868	5.5	0.9	1.18
農業機械	2,521	7.6	0.5	農業機械	1,638	▲ 35.0	0.5	繊維機械	2,226	92.9	0.5	0.71
繊維機械	2,345	▲ 25.4	0.4	繊維機械	1,154	▲ 50.8	0.3	農業機械	1,896	15.7	0.4	0.81
事務機械	1,342	▲ 16.5	0.2	産業車両	932	▲ 64.3	0.3	産業車両	1,408	51.1	0.3	0.58
				事務機械	896	▲ 33.2	0.3	事務機械	946	5.6	0.2	0.59
20業種合計	532,970		97.9	20業種合計	336,514		97.4	20業種合計	430,759		97.9	0.76

前年比10%以上の増加

(4) 機械輸入動向～13機種の内、航空機を除く12機種で大幅増～

- 平成22年の**機械輸入額**は、**18.3%増**と3年ぶりにプラスとなった。地域別には、機械輸入額の38.6%を占める**中国**からの輸入は29%増、30%の**NIES/ASEAN**からは20.2%増、12.5%の**EU**は10.1%増、14.7%の**米国**は0.4%増となった。
- 機種別では、輸入二大機種の**電子デバイス**(21.8%増)、**電子計算機**(18.9%増)がともに2ケタ増と全体の増加に大きく寄与し、その他、**TV**(2.1倍)、**携帯電話**(55.5%増)、**自動車部品**(35.7%増)、**乗用車**(31.9%増)、**民生用電子部品**(20%増)が大幅な伸びとなった。一方、マイナスとなったのは**航空機**(18%減)の1機種のみであった。
- なお、輸入額が輸出額を上回ったのは、**電子計算機**、**テレビ**、**携帯電話**、**白物家電**、**医療機器**、**時計**、**ラジオ**、**写真機**である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年)

(単位:億円)

平成20年				平成21年				平成22年			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	24,700	▲ 13.0	13.2	電子デバイス	17,387	▲ 29.1	12.9	電子デバイス	21,184	21.8	13.3
電子計算機	22,393	▲ 7.0	12.0	電子計算機	16,813	▲ 24.9	12.5	電子計算機	20,003	18.9	12.6
自動車部品	10,113	1.1	5.4	重電気機械	6,391	▲ 33.3	4.7	重電気機械	7,375	15.3	4.6
重電気機械	9,572	▲ 3.3	5.1	自動車部品	5,384	▲ 46.9	4.0	自動車部品	7,328	35.7	4.6
乗用車	7,018	▲ 22.3	3.8	民生用電気機器	5,248	▲ 7.6	3.9	TV	5,926	109.5	3.7
航空機	5,870	▲ 16.3	3.1	医療機器	4,633	▲ 7.6	3.4	民生用電気機器	5,735	9.2	3.6
民生用電気機器	5,678	0.9	3.0	航空機	4,477	▲ 23.7	3.3	乗用車	5,633	31.9	3.5
光学機械	5,637	▲ 19.0	3.0	乗用車	4,270	▲ 39.2	3.2	医療機器	5,142	10.9	3.2
民生用電子部品	5,180	3.4	2.8	民生用電子部品	3,585	▲ 40.8	2.7	携帯電話	4,472	55.5	2.8
医療機器	3,929	▲ 2.8	2.1	光学機械	3,322	▲ 41.1	2.5	民生用電子部品	4,303	20.0	2.7
分析試験検査機	3,745	▲ 14.3	2.0	携帯電話	2,873	22.6	2.1	光学機械	3,881	16.7	2.4
風水力機械	2,982	4.0	1.6	TV	2,829	21.0	2.1	航空機	3,670	▲ 18.0	2.3
時計	2,596	▲ 3.8	1.4	分析試験検査機	2,630	▲ 29.9	2.0	分析試験検査機	3,168	20.4	2.0
13機種合計	109,413		58.7	13機種合計	79,842		59.3	13機種合計	97,820		61.4

前年比10%以上の増加。 民生用電気機器: 白物家電